



写真ニュース

立派な作品

「父兄も感心」

十一月二十二日、角田浜保育園で園児の作品展が開かれました。園児たちが、この日のために一生懸命に作ったもので、紙袋、版画のカレンダー、人形画などをはじめ、共同制作の「みんなのまち」も展示されました。

保育園を中心遊園地などのある立派な作品に見学におとすれたおかさんたちも感心していました。(写真)



主婦が食生活を勉強

十一月二十九日、二千人の主婦が参加して赤さび公民館で食生活指導会が開かれました。

「健康はバランスのとれた食事から」ということで乳製品の幅広い活用をねらった調理方法を中心に、実習をはじえたながら町農業士の指導を受けました(写真)。そして実習後は、できればお子さんをしながら楽しく試食をしました。

四十九年四月からの常設保育園の入園申し込みを次により行ないます。入園を希望される方は忘れず申込んでください。

入園資格

(一)児童の母親が居間家庭の外で仕事をすることが普通なので、その児童の保育

農業の道しるべ

四十九年四月から改選の中学校で生徒会活動について開かれました(写真)。

十一月二十七日、漆山会役員改選が開かれました。

十一月二十九日、二千人の主婦が参加して赤さび公民館で食生活指導会が開かれました。

新しい農業観

西村欣策

むかしのよう、耕作

反省会などといふ能じは

しかし、今まで農家

「規模拡大、粗放でも

の主軸が米である地雷の農

の胸の中には何らかの形で、耕作の反省をしていることである。

管内の普及所では、反省が、大きめ反省しなければ

育ができない場合。しかし父親がそのまま仕事に従事して

いて、かつそのため使用者

がいる家庭は除かれる。

(二)母親の死亡、行方不明

の胸の中には何らかの形で、耕作の反省をしていることである。

一枚看板にしてきた人たちが、大農業で、思入れをみる。「米はやはり収量をあげなければだめだ」とい

うのが、本当の感じ方でないだろうか。

最近、北陸地方の視察で十ヶタール作つたという人が、十ヶタール作つたといふことを見ついた。

それは「米作りは反収を上げねばならない」という時代にきていたのだといふことを、体験して、そのままである。

この二つの例で、米作りの公約を呼びかけ、当選のいふことは、「決断」と実行を約束していました。

そして翌日の公明選舉で会長、副会長、書記長、書記次長の新役員が決まりました。

漆山会改選が開かれました。

漆山会